

○	現場	事務所内
---	----	------

支店幹部による現場総回診（現場巡回）

現場巡回



現場巡回報告会

取組み内容

作業所の状況は、書面の報告書や担当部長の説明だけでは十分に伝わらないことがあります。書面を確認するだけの場合と、実際に施工現場に赴き様子を確認するのとでは、判断の的確さに差が現れます。

作業環境や条件は現場により様々です。現地に足を運び、状況を見て、現場運営の方針が適しているか、あるいは変更すべきかを即座に判断することが可能となる作業所巡回の役割は大きいです。

当社では、支店長以下、副支店長、施工部門長、および設備部門長が、月に一度作業所を訪問し、複数の視点で作業所のチェックを行う現場総回診（現場巡回）を実施しています。施工管理の方法や工事運営の方向性などは、作業所巡回時に現場事務所で開かれる報告会で話し合われます。そのほかに、作業所長や若手の所員などからの生の声を受け、議論やアドバイスをすることもあります。

最先端のICT機器を使用するような華々しさはありませんが、リアルな対話を通じた感情の交流により人間関係の構築やアイデアの共有を効果的に行うことができ、より深い理解と連携が可能になる取組みです。

効 果

- ◆従業員との直接対話を通じて、組織のビジョンや目標を共有し、組織内の情報伝達が円滑になります。
- ◆問題や改善点を直接指摘し、解決策を提供することで、業務プロセスやパフォーマンスの向上に寄与します。
- ◆経営幹部が現場で自身のリーダーシップを実践する姿勢は、従業員のモチベーションに良い影響を与えます。
- ◆高い視点を持った経営幹部の直接的関与によって、課題を迅速に識別し、解決策を提供することができます。
- ◆組織文化や価値観を示すことで、これらの要素が従業員に浸透し、組織の一体感と共感情を高めます。
- ◆組織内の異なる部門やチーム間の連携が強化され、情報共有や連携が円滑に進み、組織の協調が向上します。
- ◆公衆災害の件数について、この取組を始めた二年前には年間6件の発生水準でしたが、巡回時における複数の視点からの環境改善指導が目に見えた効果となって現れ、現在では年間1件の状況を維持できています。

留 意 事 項 / そ の 他

経営幹部による指導が一方的なものを受け取られて萎縮されることがない様に、現場の所員との対話を重視し、自由闊達に相談しやすい環境を保ち、信頼関係を維持する雰囲気作りを行っています。